

委員会活動の紹介

当施設では、介護保険法で定められた委員会（感染症予防対策委員会・事故発生防止員会・褥瘡発生予防委員会）のほか、職員の資質向上のための学習委員会、ご入所者の生活向上のための QOL 委員会など様々な委員会を開催しています。

事故発生防止委員会

施設内で起こった事故（転倒・転落・薬関係・暴力・アザ・外傷・医療関係・異食誤飲・無断外出・自傷行為・骨折・その他）を分類し、大きな事故の詳細（いつどのようにして起きた事故か、その対策）の報告や検討を月一回、各部署の担当職員が集まり開催しています。

事故発生時には、その後同じ事故が起きないように、ヒヤリハット（インシデント）報告書を展開し、KYT（危険予知トレーニング）4ラウンド法という手法で意見を出し合い、問題解決を図っています。今年も、職員から事故に対する危険意識を高めるための標語を募り、施設内に貼りだし、事故に対する意識を高める手段として、活用したいと考えています。また、年に2回専門講師を招き、職員の教育研修を実施する計画です。

褥瘡予防対策委員会

褥瘡という言葉は聞きなれないかと思いますが、寝たきりなどによって、体重で圧迫されている場所の血流が悪くなったり滞ることで、皮膚の一部が赤い色味をおびたり、ただれたり、傷ができてしまうことです。一般的に「床ずれ」ともいわれています。

入所者の多くは、入所時すでに栄養状態が悪かったり、自力で寝返りができないなどの褥瘡発生因子を抱えていらっしゃいます。これらの原因により、一度褥瘡が形成されると、完治までに時間がかかります。そのため、未然に防ぐ手段として、マットレスやクッションなど、除圧機能のあるものを購入したり、時間ごとに体位変換をお手伝いしたり、また排泄が自立できない方の清潔保持に努めたり等、日々観察とケアを継続しています。

褥瘡予防対策委員会は月1回開催し、医師・看護師・介護士・リハビリ職・管理栄養士など多職種が集まり、情報を共有し、チームケアにより褥瘡の予防及び早期発見・早期治療に努めています。

地域の皆様へ

- ① 相談窓口
ご入所やデイケアのご相談・ご利用希望につきましては、相談課 大水までお気軽に問い合わせください。
- ② 平成 29 年度 6～9 月 施設内研修会のご案内
17:45 より、当施設会議室で開催します。
どなた様でもご参加いただけます。
6 月 23 日 アンガーマネジメント ～イライラとうまく付き合う～
7 月 28 日 肺結核・レジオネラを学ぶ
8 月 24 日 地震災害への備えと課題
9 月 22 日 何度でも KYT！ ～4 ラウンドを紐解く～ パート 1
- ③ 認知症予防カフェのご案内
大棚町内会をはじめ、区内関係機関と協力し、認知症予防カフェを毎月 25 日、大棚町内会館で開催しています。会費は 1 回 100 円です。是非、お立ち寄りください。



都筑ハートフルステーション便り 拡大版

平成 29 年 5 月 31 日発行
施設長 天野 國秀
発行責任者 箕輪 高博
経営母体：
水野クリニック



施設では、在宅復帰を支援します。また、高医療依存者の受け入れとともに、看取りケアの実施も行っています。

都筑ハートフルステーションの理念

私たちは、ご利用者様の人権と安全を第一に考え、最適な介護サービスを提供することに努めます。

私たちは、ご利用者様の個々のニーズに応じた介護サービスを提供することに努めます。

私たちは、当施設が介護サービス提供施設として地域の核となり、関係機関と協働して地域介護の発信基地となることに努めます。

施設概要

一般棟（2 階） 60 床
認知症専門棟（3 階） 40 床 各階ショートステイ受け入れあり
通所リハビリテーション（デイケア） 1 日 34 名
TEL 045-595-2641 FAX 045-595-2642
E-メール heartfull@katsujinkai.org

老健（ろうけん）と特養（とくよう）の違いとは？！

介護老人保健施設（老健）と特別養護老人施設（特養）、どちらも介護保険の施設ではありますが、施設の役割には大きな違いがあります。今回は、職員の配置や施設の役割、料金の違いについてご紹介します。

①職員は何人いるの？（100床の場合）

老健では、常勤の医師の配置が義務付けられています。また、看護師の配置人数も特養に比べると多く、医療ニーズのある方の入所対応も可能になっています。また、職員の配置人数は法律で決められていますが、看護師・介護士については、1.2～1.3 倍の職員数がいなければ、十分なサービス提供が出来ません。

基準数	医師	看護職員	介護職員	リハビリ職員
老健	常勤 1 名	10 名	24 名	1 名
特養	非常勤で良い	3 名	31 名	なし

②入所期間は3か月！？

特養は、「終の棲家」として、入院加療が必要な場合を除き、長期入所が可能な施設です。

老健は、「在宅復帰を目指す施設」のため、入所継続が必要か3ヶ月毎に見直す事が義務付けられています。「3ヶ月したら出なければならない」という事ではありません。医師・看護師・リハビリなどの専門職が、特養待機や在宅復帰、看取りといったご利用者・ご家族の希望をもとに、必要なサポートを行います。老健は、医療処置やリハビリ、在宅復帰から看取りまでを行う多機能な施設なのです。

③いくらかかるの？

4人部屋の場合、従来型老健では、月12万円程度、従来型特養では月9万円程度で、特養の方が費用的には安価となっています。しかし、特養の場合、医療費は、利用者負担となっています。高額な薬や多種の薬を使用している場合には、老健と同等か高くなるケースもあります。老健では、薬剤費も基本報酬に含まれているため、施設側が薬を購入し必要なお薬をご利用者へ処方しています。

老健と特養の違いは、多々ありますが、制度の上の役割と地域のニーズに応えながら、地域の方々へ信頼と安心を持って頂けるように努めてまいります。

当施設職員数

平成29年5月1日現在

・医師	1.05 名	・理学療法士	2.9 名	・管理栄養士	1.0 名
・看護師	13.2 名	・作業療法士	3.0 名	・薬剤師	0.3 名
・看護補助	0.5 名	・支援相談員	3.0 名	・事務員	5.0 名
・介護士	28.8 名	・介護支援専門員	2.0 名	・技能員（運転手）	5.0 名
・介護補助	3.0 名				

※週40時間勤務する職員を1.0名として人数計算しています。パートで週20時間勤務の職員は0.5名となります。

施設・行事の様子

H29.2 太陽光発電設置完了

屋上に117枚の太陽光発電パネルを設置しました。蛍光灯960本分を発電しています。



H29.4 春のお食事会

いつもより豪華な季節の味覚を楽しんで頂きます。刺身とてんぷらが好評でした。



H29.4 デイケアお花見

施設内の桜を前に、職員が大正琴を奏でる中、敷地内で花見を行いました。



H29.4 お花見散策

近隣の公園まで花見に出かけました。今年は開花が遅かったため、十分に桜を堪能しました。



H29.5 園児との交流

6月のふれあい祭に向けて、飾りつけをすくすく保育園の園児と制作しました。



H29.5 ペッパーが来たよ

法人として、ペッパーの高齢者向けへの開発に協力しています。皆さん大変喜んでいました。

